



責任 大 年 豊 実 さ ん づ ぐ 往 生

前々住職（釈俊雄）の頃より、長年にわたり宗教法人西教寺の責任役員としてお力添えを賜りました大年豊実さんが、去る二〇〇九年一〇月二十五日ご往生されました。温厚誠実、気さくな方で、編集者（智寧）が寺報七〇号（一九九七



年一〇月）の取材でお邪魔した際には、お精進の話や、今はなき男性のお講「お茶講」の話など、楽しくするためにのお話をお聞かせ下さいました。特に、お寺参りについて、男性のお参りが減ったことを嘆かれ、「これじゃあご法義を伝えてくれたご先祖に申し訳がないと思います。」

「父（俊栄さん）は、朝昼晩参った。特に祖父（興之助さん）は、足が悪かったが九十五歳まで寺は絶対参った。」と話され、ご自身も、毎月参詣され、本堂の最前列でお念仏を喜んでおられました。

惣付地区世話人を長い間務められた、水口貞子さんがこのたび退かれ、代わりに水口さと子さんがお世話下さることになりました。また、上山田地区世話人、中祖公子さんと吉元八

ルコさんは、厚井幸子さんと西本由美子さんに交代されました。片山地区世話人、小田原倅江さんは、本片山保子さんと交代、町地区の平本和世さんは山口瑞恵さんが代わりにお世話してく

ださることにになりました。旧世話人の皆さん、ありがとうございました。新世話人の皆さん、どうぞ宜しくお願いします。

水口さと子さん



厚井幸子さん



西本由美子さん



本片山保子さん



この度、長ノ木本坊仏教婦人会副会長の重村式子さんと堂本ミツコさんが退かれて、それぞれ相談役になられました。後任には、村高千彩子さん、筒本縁さんが就任されました。皆さん、どうぞ宜しくお願います。

筒本縁さん



村高千彩子さん



盆 灯 籠 と トウバ

昨年夏にお配りした号外にてお知らせしましたが、最近、盆灯籠を禁止する墓地もあるようです。安芸教区（広島西部五百五十ヶ寺）見解によると、教義的には問題なし、迎え火送り火の類ではなく、仏さまにお供えするお灯明であるということ。また、代替品として出回っている「トウバ」（木片に「南無阿彌陀仏」のお名号が書かれたもの）は「勧められません」ということですので、宜しくお願いします。また、お名号が刻んでない墓にお参りする際は「携帯用のご本尊を安置してお参りしましょう。」

←トウバ



南無阿彌陀佛